2016 Aiming to 111 【Y】勇気【E】笑顔【G】元気 ~伝統を守り未来を創造する鳥取YEG~ 第214号





発行:平成28年11月15日 鳥取商工会議所青年部 広報情報発信委員会

鳥取商工会議所青年部通信

November 2016

|平成28年度 会長あいさ



鳥取商工会議所青年部 牧浦 健泰 会長 株式会社 牧浦商店

感じました。一日も早く復旧されますことを心 等の対応をいただき、YEGの『仲間』を改めて 地区の会長の皆さんからも、心配やら支援準備 集め、東部地区の被害状況を確認しました。他 らもネットやつながりにくい携帯電話で情報を 市にて開催された『YEG中国ブロック会長会 想像されなかったことと思います。当日は、玉野 ような大規模地震が発生することは、どなたも 15日目になります。災害の少ない地域で、この 発生した鳥取県西部地震から、ちょうど16年と 見舞いを申し上げます。今春の4月14日に発生 震により被害を受けられた皆さまに、心からお からお祈り申し上げます。 と『鳥取県』と表示され、不安と焦りを感じなが した熊本地震から約半年、平成12年10月6日に /―ムが会場内に鳴りはじめ、携帯画面を見る このたびの鳥取県中部地区を震源とする地 に参加しておりました。緊急地震速報のア

包まれ、会員や会員企業関係者、例会交流事業 年連続で獲得されているすご腕営業マンという られる「MDRT会員」資格を2012年から5 た、世界の保険営業マンの上位6%のみに与え マン』を出版されているトップ営業マンです。ま を綴った著書『日本一になった田舎の保険営業 ちと同世代であり、自らの経験と営業ノウハウ し、開催致しました。講師は、倉吉市在住で私た コーディネート代表取締役、林直樹氏をお迎え に学ぶ仕事術」と題して講師に株式会社リアル 館に移し、「日本一になった田舎の保険営業マン で参加された倉吉、米子YEGの会員が熱心に こともあり、会場は講師と聴講者の熱い空気に 10月の例会は、19日に会場をとりぎん文化会

> れたことでしょう。 く伝達することがとても重要になると感じま れません。有用な情報を集め、その情報をうま か、正しい営業手法を探ることができるかもし すればモノとサービスを売ることができるの です。情報を適切に扱い、処理することで、どう いただけるように情報伝達をすることが必要 情報収集を行い、よりたくさんの商品を買って また、より多くのお客様のニーズを知るために 良く、適正な価格で提供することが大切です。 が求める商品やサービスを競合他社よりも質 らのセールスを行い、 前にまず、目の前の成果よりも営業職自身が自 耳を傾けました。『営業の本質とは何か』を考え した。会員の皆さんの営業スキルも一層向上さ てみますと、モノとサービスを販売、提供する 強い信頼関係の下で先方

深めました。普段会えない会員との交流は大き されていない素材、発信されていない素材を広 地域にある素材を最大限に生かすことも地域 す。地域により抱える問題は違いますが、その 成長につながる糧となる大会であったと思いま 足を運んで岡山県玉野市を満喫いたしました。 な情報交換の場であり、分科会では地域の文化 の中、1400名強のYEG会員が中国5県、日 げていくことが、鳥取YEGの大きな役割です に暮らす私たちの大切な使命です。まだ、発見 や鳥取YEGに持ち帰り、地域の発展や自身の 会員各自がブロック大会で感じたものを自企業 や産業といった特色を体験したり、景勝地にも 本全国から集い、鳥取大会の旧交を温め交流を しくもあり、たまの大会の趣向に興味津々で Gの会員にとりましては、一年前の開催が懐か いただきました。昨年の開催地である鳥取YF 約60名の皆さんでこの大きな大会を設営して つなげる玉野の決意~を掲げられ、玉野YEG が開催されました。テーマは『NEXT』~次に 大会経験者として応援や手伝いをしたくなる 面もありました。和気あいあいとした雰囲気 さて、10月22日は『中国ブロックたまの大会

めに真剣に活動してまいりますので、引き続き す。鳥取YEG全会員が各自と地域の目標のた 意と工夫、勇気と情熱を傾けよう』とありま YEG指針の中に『豊かな郷土を築くために

代表取締役、林直樹氏をお招きし 講師には保険営業の分野で世界トップレベルの営業成績を上げ 推薦で会員企業の関係者や一般の方にも参加いただきました。 うとのあいさつがあり、山崎県連会長と倉吉YEGの皆さまよ 中国ブロック大会を懐かしく思い出します。 た。会場がとりぎん文化会館ということで、皆で集まると昨年の り米子YEGや倉吉YEGの多くのメンバーが参加されま な営業力、コミュニケーション に、ビジネスにおいて必要不可欠 営業マンに学ぶ仕事術」をテーマ ているプロ営業マン。倉吉市の株式会社リアルコーディネー った中国ブロック大会たまの大会を皆で楽しんで交流を広げよ 開催しました。他単会の例会を知る取り組みとして鳥取県連よ Rがありました。 講演会からは、より多くの方に聴講していただくため会員の 冒頭の例会では、牧浦会長より、お城まつりのお礼と週末に迫 10月例会はビジネススキル向上委員会主幹による講師例会を 11月の鳥取県連合同例会・倉吉YEG30周年記念事業のP

以上の講演やセミナーを開催さ 林講師は全国各地で年間の本 作事業を展開されています。講演 ました。失敗しても再チャレンジ が元気になれる歌をご紹介され 話いただきました。最後に林講師 で学んだことを分かりやすくお 言葉が印象的で、失敗の連続の中 動しないことが一番ダメ」という の中で、「失敗はして当たり前。行 険代理店、コンサル事業、映像制 れ、受講者は5000名を超え保 る心構えなどを学びました。 いける、そんな気持ちになれる歌 して、また頑張ろうと前を向

が高まり、参加してよかったと思 れず前向きに取り組もうと、意識 える素晴らしい講師例会でした。 講演を通じて何事も失敗を恐 表取締役 林 直樹 5 に学ぶ仕事

林 直樹 講師





カ、プロ営業としての仕事に対す

倉吉YEGの30周年事業PR

10 例 師 例

所 とりぎん文化会館 第一会議室 19 00 5

日 時 平成28年10月19日(丞 00

YEG通信

「日本一になった田舎の保険

YEGベネフィット ~YEGが成長と信頼を生み 次(地)世代を支える力となる!~

りました。そして2回目のお城まつりの時、当時会長の英副会頭 今年度当委員会に示されたミッションの一つでありました。 す。この伝統ある「奴踊り」の4年ぶりの復活は、牧浦会長より をつくることはできないかと考え、生まれたのが「奴踊り」で が中心となり、鳥取YEGとして発信でき、お城まつりの賑わい とても暑い一日でした。時代行列、奴隊の衣装を着ても地肌が り」に奴踊りと時代行列で参加しました。当日は日差しが強く 思いがあったからこそだと思います。 見えているところが日焼けされた方もいました。 今回一番大変だったのは、何と言っても奴隊のメンバーでし 今回が17回目となるお城まつりは、鳥取城復元のために始ま 10月2日(日)に開催された「第17回鳥取三十二万石お城まつ

ないまでも暑い中頑張って踊り切ったことで、大きな達成感を得 踊りを披露されました。それも「奴踊り」の経験者と皆さんの 慌ただしい中、時間をとって一生懸命に練習し、本番では完璧な 大深先生をはじめ、練習期間がそれほど取れず、メンバー構成も た。奴踊りを指導していただいた当会メンバーstudio do-hipの ステージで2回、時代行列の道中3回の計5回、猛暑とはいか

できるよう、より一層努力をしてまいります。 との大切さを実感しました。次代に向けてしっかりバトンタッチ づくり創造委員会としても、この踊りを未来につなげていくこ 鳥取YEG伝統の「奴踊り」を体験し、自分自身としても未来

> 中です。今年度2回目の ましたが、まだまだ募集

なりました!

会員も18名まで増え

コンペは11月に行いま

を満喫してたくさんの

は素晴らしく感動的で った時の達成感と眺め

した。今後もアウトドア

ゴルフ同好会

浩

未来づくり創造委員会 委員長 嶋田 耕治



参加したメンバ-

コンペに参加したメンバー



富士山山頂にて



フットサル大会の様子

司二

同

好

動

報

쏨

る最高のコンディショ フ倶楽部で開催しまし 用スターリゾートゴル 会は、7月10日に同好会 君、優勝は白岩裕己君と スグロ賞は上田真由美 て激しい戦いの結果、ベ フを楽しみました。そし ンの中、思いっ切りゴル た。当日は晴天に恵まれ 設立後初のコンペを佐 好会です!ゴルフ同好 こんにちは。ゴルフ同 事登頂し、山頂からご来 ら『アウトドア同好会』 同士励まし合い、登り切 狭い山小屋の寝床に苦 と高山病、そしてとても 光を拝むことができま しい天候の中、全員で無 で富士山に登り、すばら に名称変更しました! るべく『登山同好会』か した。足腰の疲労、寒さ しみましたが、メンバー .月末にメンバー5名 より活動の幅を広げ

思い出をつくります! 安田道人

サッカー同好会

会長

中﨑雄

参加している同好会会会もお子さんと一緒に 週1回1時間ほど練習 月からは新日本海新聞 ところ大会ではなかな活動をしています。今の 員もおり、和気あいあい 場しています。練習も大 をし、2週間に1回ほど 楽しみです! の同好会会員の活躍が した練習ができるよう を行うようになり、充実 社の方々と一緒に練習 か勝てていませんが、10 とした雰囲気で楽しく フットサルの大会に出 になりましたので、今後 サッカー同好会は、毎

入会員



水本 (みずもと はじめ) 事業所名 水本農園 所属委員会 広報情報発信委員会



智哉君 (はなふさともや) 事業所名(株)人形のはなふさ 所属委員会 未来づくり創造委員会



井上郁代君 (いのうえいくよ) 事業所名 ナチュラルケアサロン Shinyou 所属委員会 地域資源活性化委員会